

# 令和3年度 学校評価報告書

丹波篠山市立西紀北小学校

校長 近成 真介

## 1 学校教育目標等

ふるさとに夢や誇りを持ち 未来の創り手となる北っ子の育成  
～へき地・小規模・複式学級の特性を生かした学校～

## 2 今年度の重点目標

- 基礎基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上
- 豊かな心の育成といじめを許さない集団づくり
- たくましく生きるための体力・気力・運動能力の向上
- 地域とともにある学校づくりと伝統文化を生かしたふるさと教育の推進

## 3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
学習指導	「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくり	B	昨年度よりも意識して取り組めた。また、1人1台端末の活用も進んだ。さらに、効果的な活用方法の研修や一人学びによる学び合いを意識した授業づくりを進める。
	図書室利用の促進と読書活動の推進	C	図書館支援員との連携や委員会活動での企画により、昨年度に比べ読書をする児童が増えてきている。家庭とも連携しながら、引き続き読書習慣の定着をめざす。
生徒指導	保護者や地域、関係機関等との連携協力の状況	A	6年生の薬物乱用防止教室を地域の方を講師として実施した。また、市の家庭児童相談室と情報共有をしながら、支援の必要な児童への対応を進めている。
	基本的な生活習慣の定着	B	あいさつはよくできている。朝の起床、睡眠時間、テレビ・ゲームや情報機器使用の約束、整理整頓などはよくなっているが、保護者は課題と捉えている割合が高い。家庭と連携した取組の強化が必要である。
地域とともにある学校づくり	学校運営への保護者・地域の参画及び協力の状況	B	コロナ禍で従前のような活動はできていないが、学校に対する熱い思いは持っていたい。学校運営協議会の取組の見直しなど、活性化を図りたい。
	地域人材や自然等を活用したふるさと教育の実施状況	A	地域の教育資源を生かした取組がしっかりできている。さらに、新たな分野への開拓や新たなゲストティーチャーの発掘など、アンテナを高くして地域に根ざした教育活動を展開していきたい。

#### 4 学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・子どもたちが生き生きと学習や生活ができるように、保護者や地域との連携をさらに深め、教育活動を進めていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しないかもしれないので、先生方も大変だと思うができる範囲での対応で学校行事等に取り組んでいければ良いと思う。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・コロナ禍でいろいろな行事等ができない中、教職員の皆さんが心を一つにして意欲を持って教育活動に努力されていると感じた。
- ・子どもたちがとてもものびのびとしていて、友だち同士でも先生とでも何でも話せる雰囲気をも感じる。
- ・保護者の立場から、子どもが中学生になって友だちができるか心配していたが、他校出身の生徒とも仲良くなって学校が楽しいと言っている。小学校の時からスクールブリッジ等で他校と交流できる場が良かったのだと思う。これからも続けてほしい。
- ・保護者や地域との連携を更に深め、教育活動を進めていただきたい。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でおたずねができていないと答えている児童が32.4%いるが、中学、高校に向けて積極的な気持ちの養成が必要。積極的に学習しないと困るようなシステムづくりを構築できないか。</li> <li>・話す、聞く、書く力がついていて自己評価している児童は85.3%いるが、これからは特に自分の意見をしっかり話す力が必要であるので、今以上に伸ばしていただきたい。それが自信となって、学習や他のことに対しての意欲につながっていくと思う。</li> <li>・読書の習慣、今の子どもたちには難しいのだろうか。親子で今しかない時間を読書を通して過ごしてほしい。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームや情報機器の使用について、児童自身も約束を守れていないと自覚している。そのことが宿題、翌日の準備、睡眠等に影響を及ぼしていると思うので、引き続き学校でも指導をお願いしたいし、やはり家庭でのゲーム等に対する注意喚起や親子のコミュニケーションが大切と感じた。</li> <li>・アンケート結果を見ると、学校ではできていることが家ではできていないことも多いので、家庭での協力が必要である。</li> <li>・家庭での生活習慣があまりできていないとの保護者の反省があるが、PTA研修等で外部講師を招いてはどうか。</li> </ul>
地域とともにある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会主催事業の「草山の魅力発信標語・写真」の応募数が少なかった。この事業を契機に、改めて地域や学校に目を向けることは大切だと思うので、PRの仕方を考え、この取組を皆が目にする機会を増やすとよいのではないか。</li> <li>・学校運営協議会として、具体的に新しいことは多くはできなかったが、少しずつでも前進できたと思う。標語の募集は見直してもいいかもしれない。</li> <li>・ふるさとを題材にした学習については、児童が94.1%、保護者が74.2%と肯定的な回答をしている。ふるさとを思う心は自己肯定感につながるので更に育てていただきたい。</li> </ul>

